

# 2022年3月期 第3四半期 決算説明資料

2022年2月4日



証券コード：4461（東証1部）  
第一工業製薬株式会社

# 本日のアジェンダ



- 1. 2022年3月期 第3四半期 連結決算** **P.3**
- 2. 2022年3月期 業績見通し** **P.14**

# 1. 2022年3月期 第3四半期 連結決算


# 連結 業績の概要（前年同期比較）




増収増益：太陽電池用途の導電性ペーストが大幅に伸長

(単位：百万円)

	21/3月期 第3Q累計	22/3月期 第3Q累計	前期比増減	
			金額	増減率
売上高	43,380	46,697	3,316	7.6%
営業利益	2,980	3,725	744	25.0%
経常利益	2,813	3,290	477	17.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,661	1,860	199	12.0%

**増収**  売上高：光硬化樹脂材料は大きく落ち込んだが、太陽電池用途の導電性ペーストが大幅に伸長

**増益**  営業利益：界面活性剤セグメントを中心とした営業努力による価格是正効果により、機能材料セグメントを除く5つのセグメントが増収達成。営業経費の増加抑制も増益に寄与。

# 連結 セグメント別構成比の推移



( ) : 構成比

## 売上高

## 営業利益

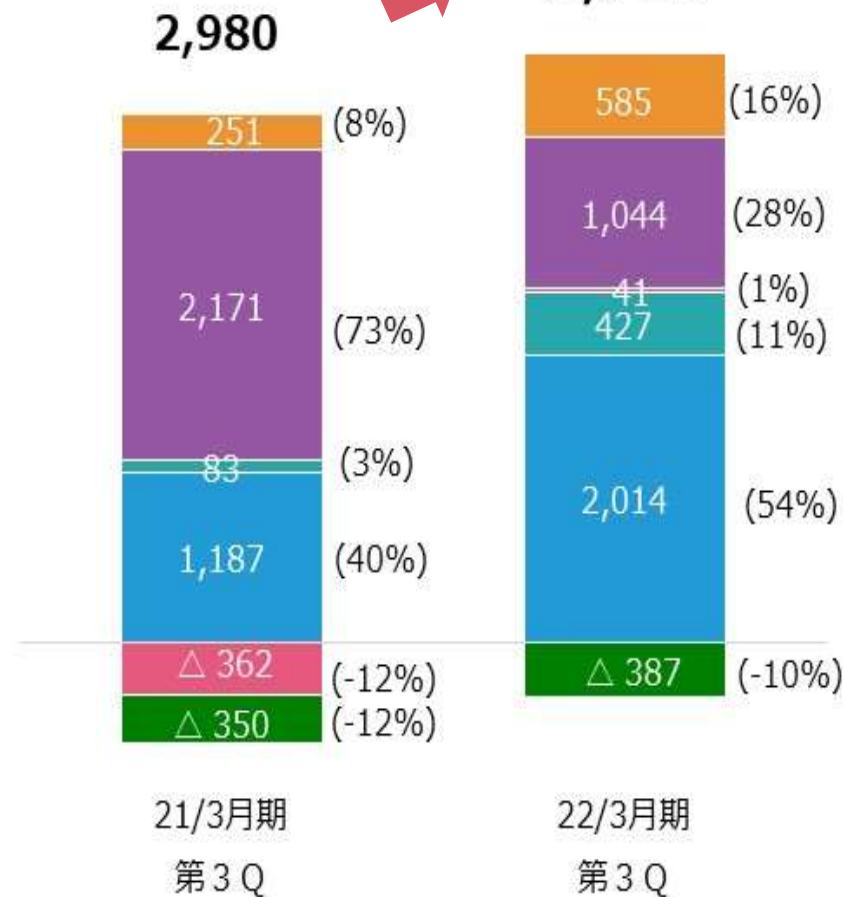
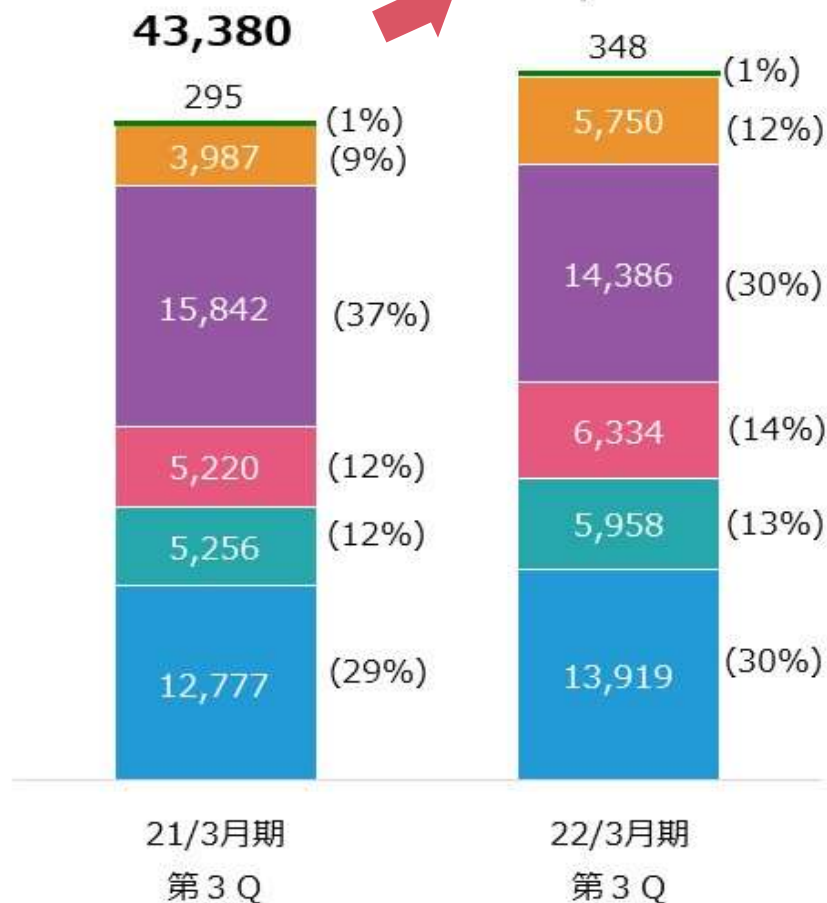
(百万円)

3,725

7.6%

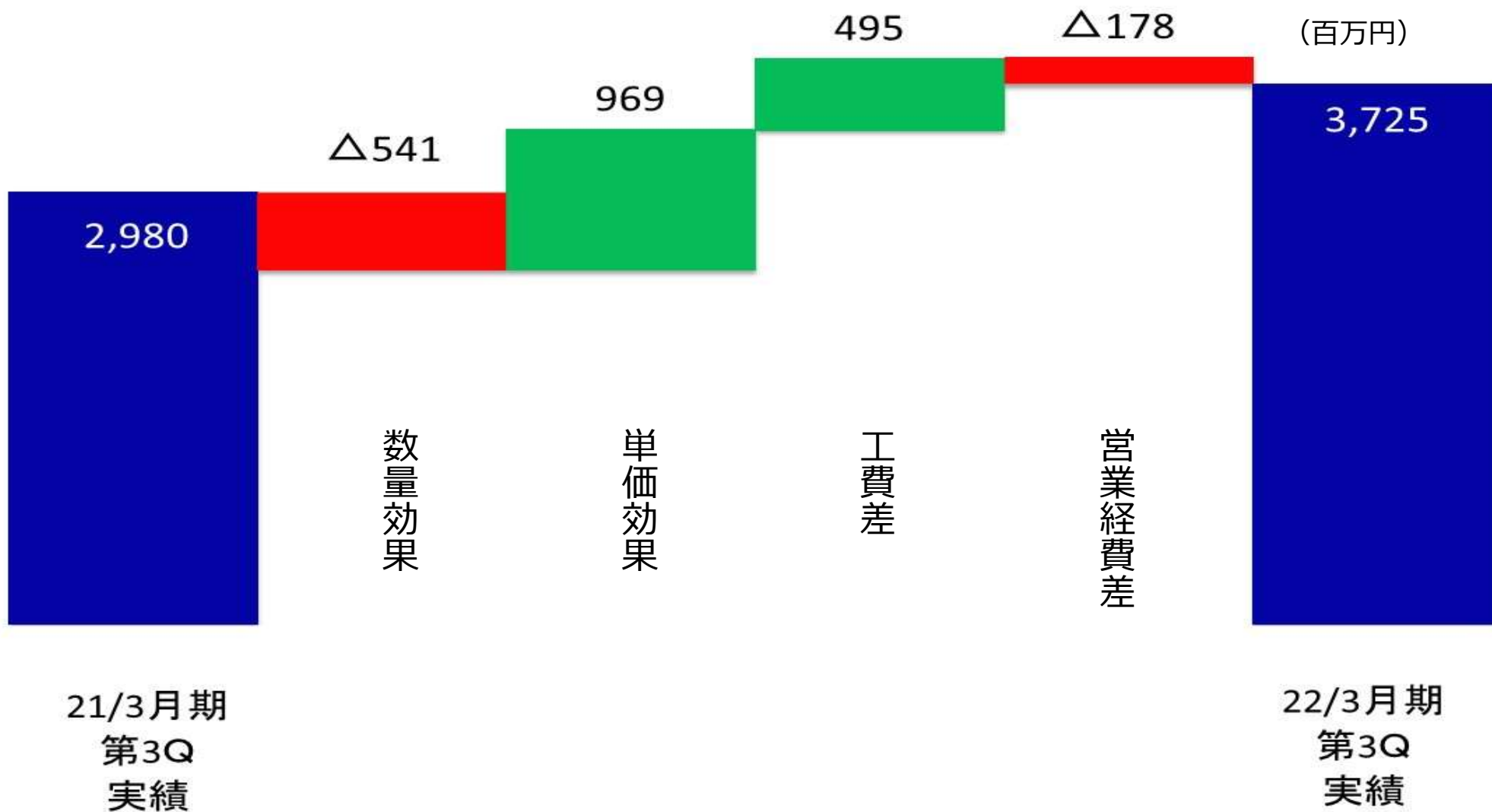
25.0%

(百万円)  
46,697

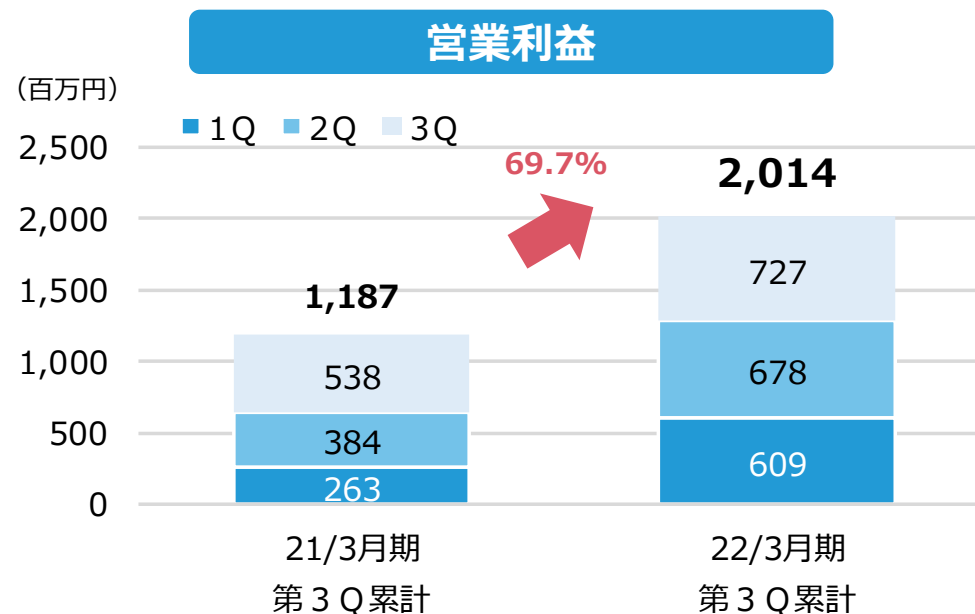
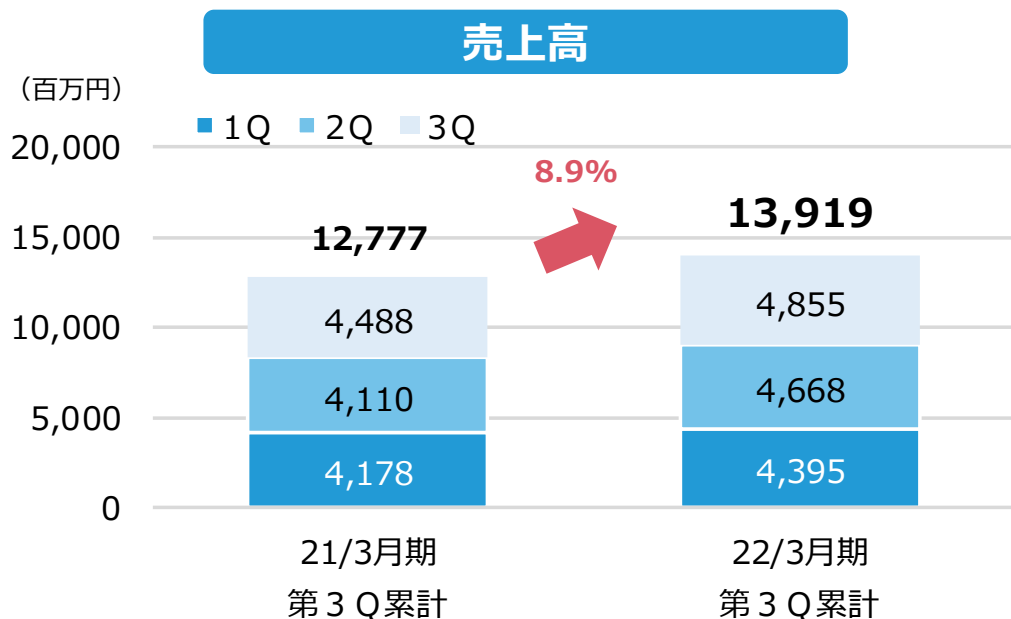


■ 界面活性剤 ■ アメニティ材料 ■ ウレタン材料 ■ 機能材料 ■ 電子デバイス材料 ■ ライフサイエンス

\*機能材料セグメント販売数量減など   
 \*採算是正活動による貢献など   
 \*機能材料セグメント販売数量減など   
 \*コロナ禍からの回復による活動経費増加など



1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。



#### 売上高：総じて大幅に伸長

- IT・電子材料用途は堅調に推移
- 石けん・洗剤用途は大幅に伸長
- 塗料・色材用途は堅調に推移

#### 営業利益：増益

- 販売価格の是正
- 営業経費の削減

#### IT・電子材料用途



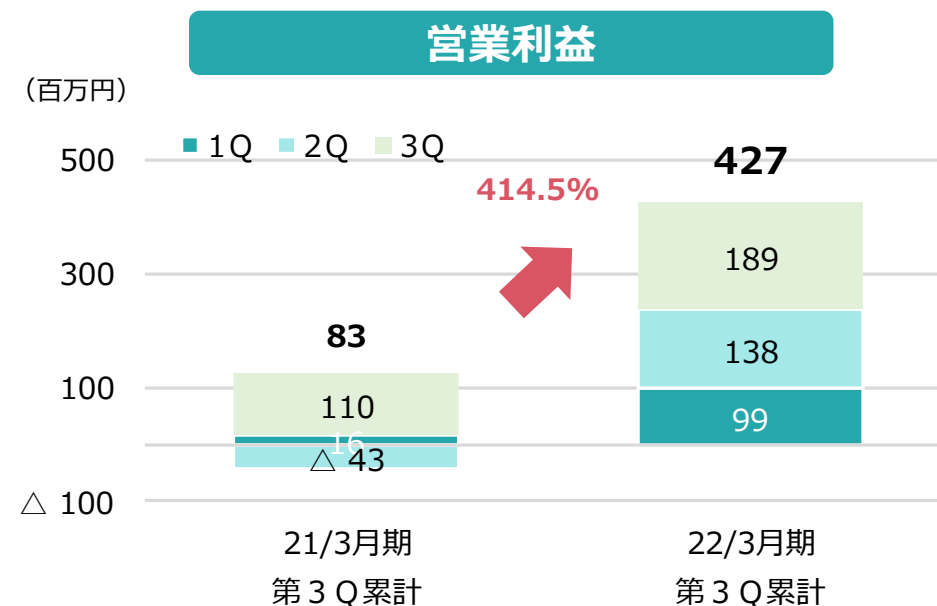
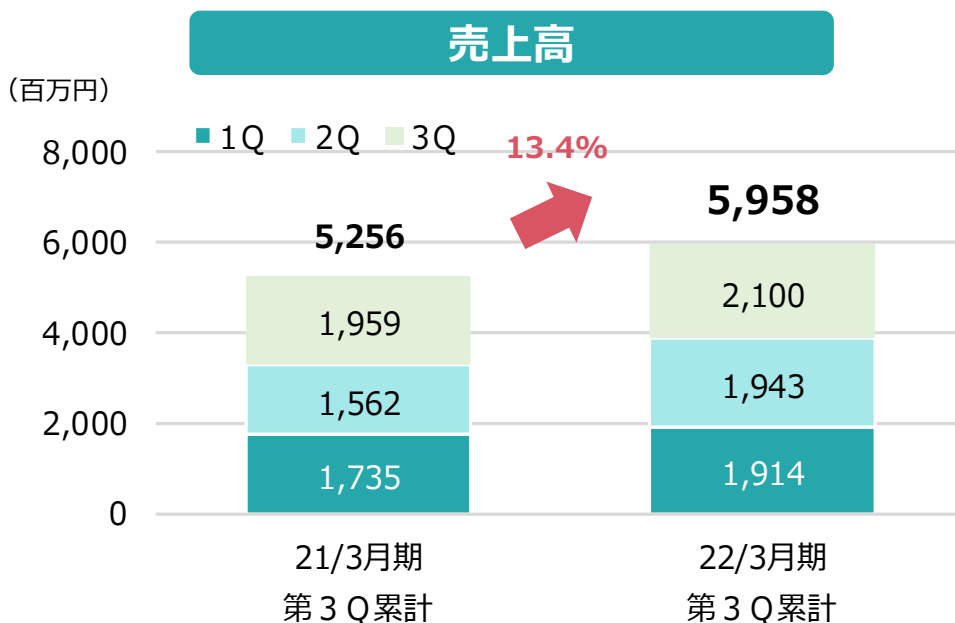
#### 石けん・洗剤用途



#### 塗料・色材



生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。



## 売上高：総じて大幅に伸長

- ショ糖脂肪酸エステルは化粧品用途は堅調に推移、食品用途は大幅に伸長
- セルロース系高分子材料は医薬品用途は堅調、エネルギー・環境用途は大幅に伸長

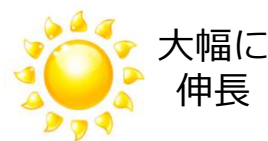
## 営業利益：増益

- エネルギー・環境用途の需要増加による売上高の伸長
- 営業経費の削減

## 化粧品用途



## 食品用途



## エネルギー用途

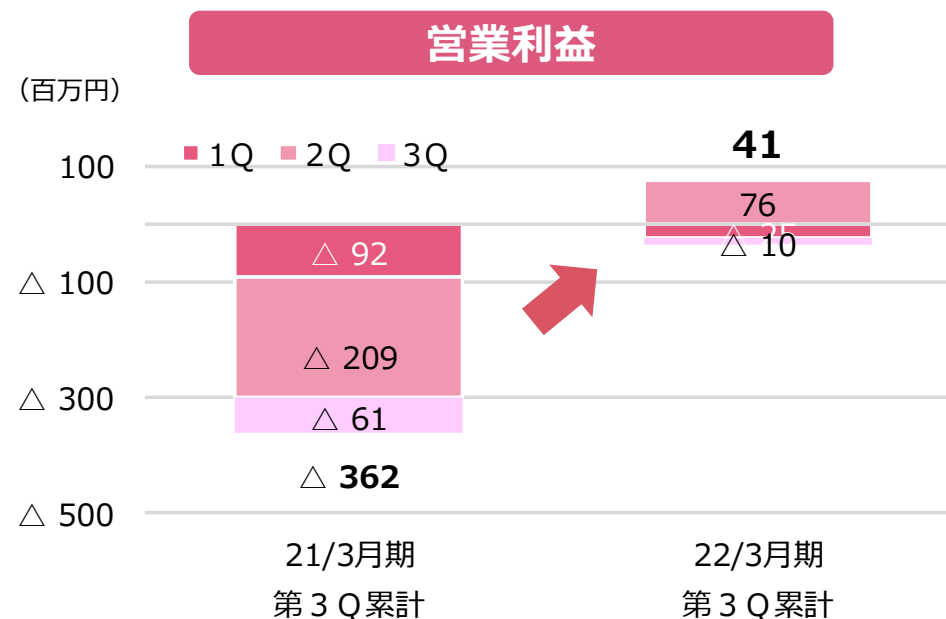
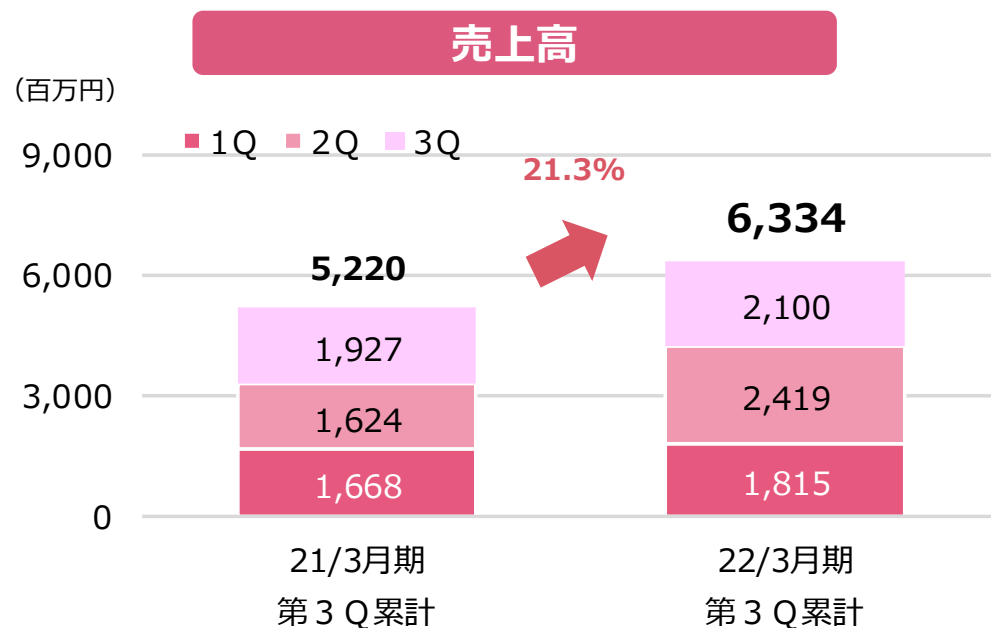




# 連結 セグメント業績 ウレタン材料



土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。



## 売上高：総じて大幅に伸長

- 合成潤滑油、土木用薬剤は大幅に伸長
- IT・電子材料用途は堅調に推移

## 営業利益：増益

- 自動車産業分野の需要回復による売上高の大幅な伸長
- 研究開発の効率化による経費圧縮

### 合成潤滑油



大幅に伸長



### 土木用薬剤:岩盤固結



大幅に伸長



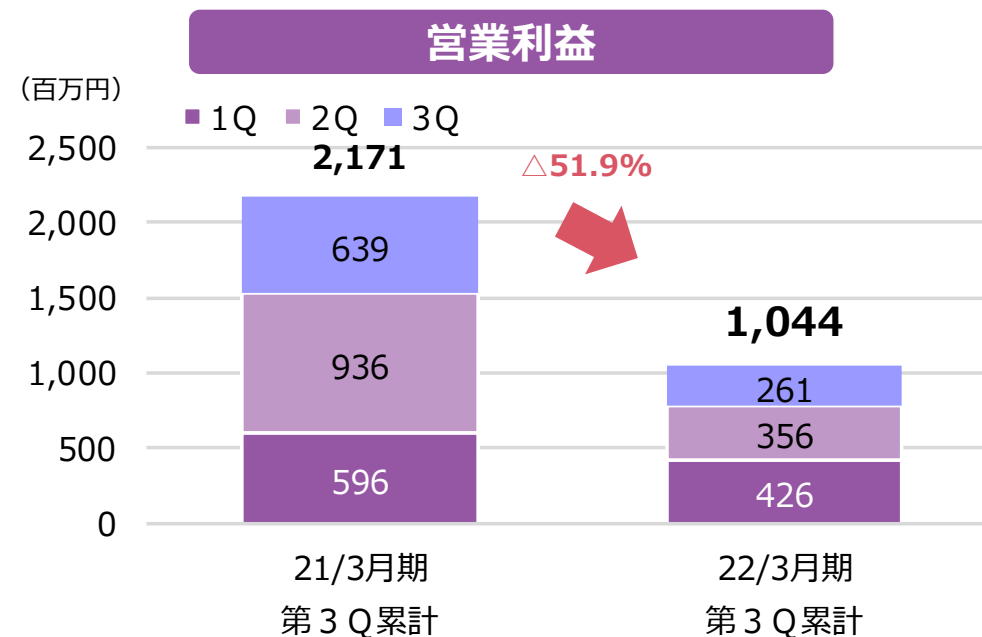
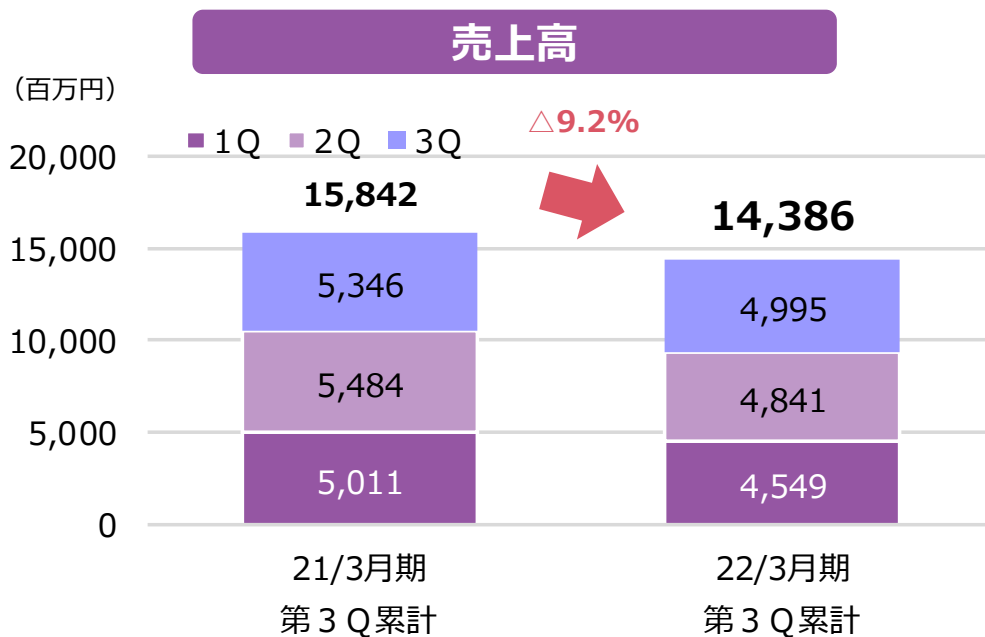
### IT・電子材料用途



堅調に推移



家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。



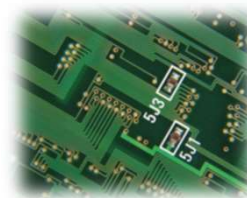
#### 売上高：総じて大きく落ち込む

- I T・電子材料用途は大きく落ち込む
- 海外の難燃剤はゴム・プラスチック用途が大幅に伸長

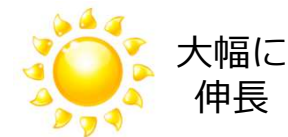
#### 営業利益：減益

- I T・電子材料用途の売上高が大きく落ち込む
- 研究開発費を中心に営業経費が増加

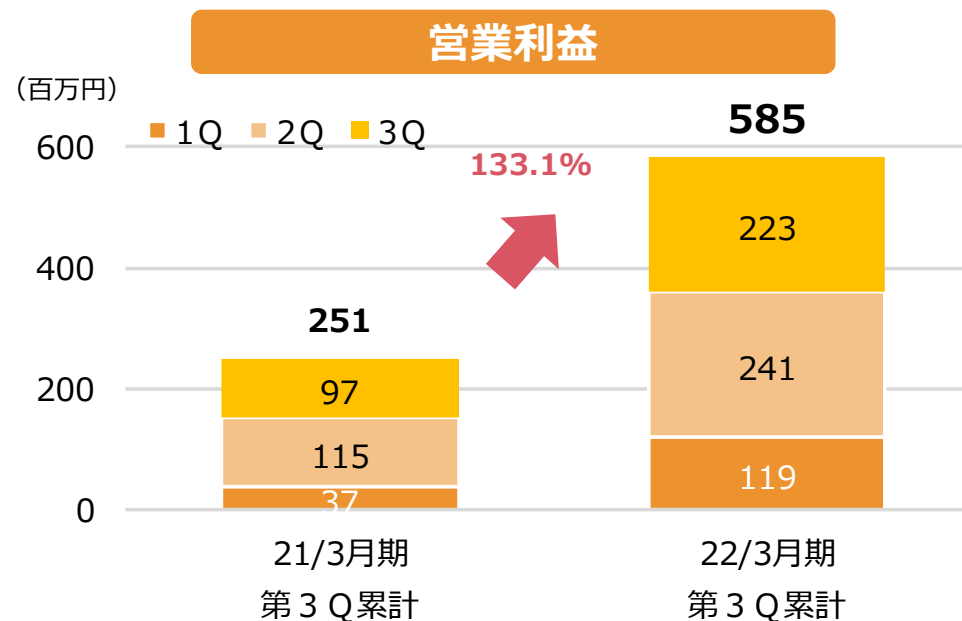
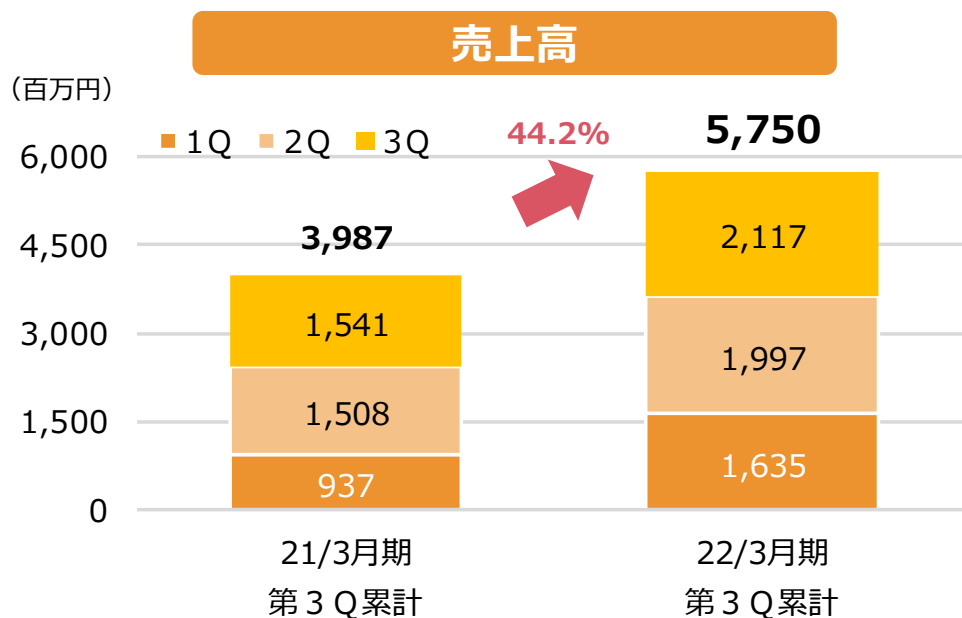
#### 電子材料用途



#### プラスチック用難燃剤



家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。



#### 売上高：総じて大幅に伸長

- ディ스플레이用途のイオン液体は低調に推移
- 太陽電池用途の導電性ペーストは大幅に伸長

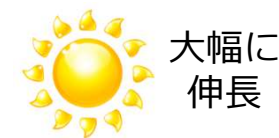
#### 営業利益：増益

- 太陽電池用途の需要増加による売上高の大幅な伸長
- 営業経費の削減

#### ディスプレイ用途



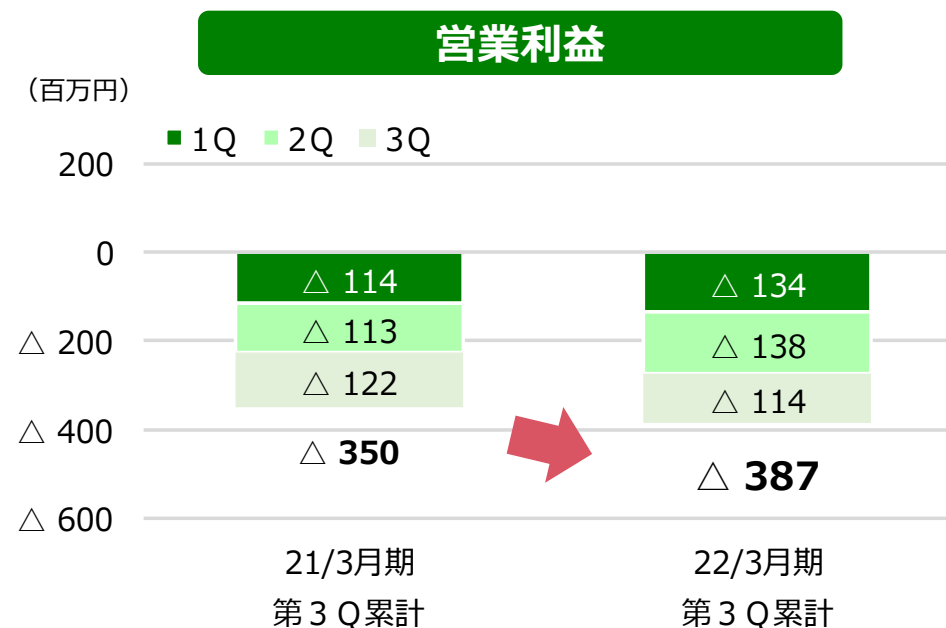
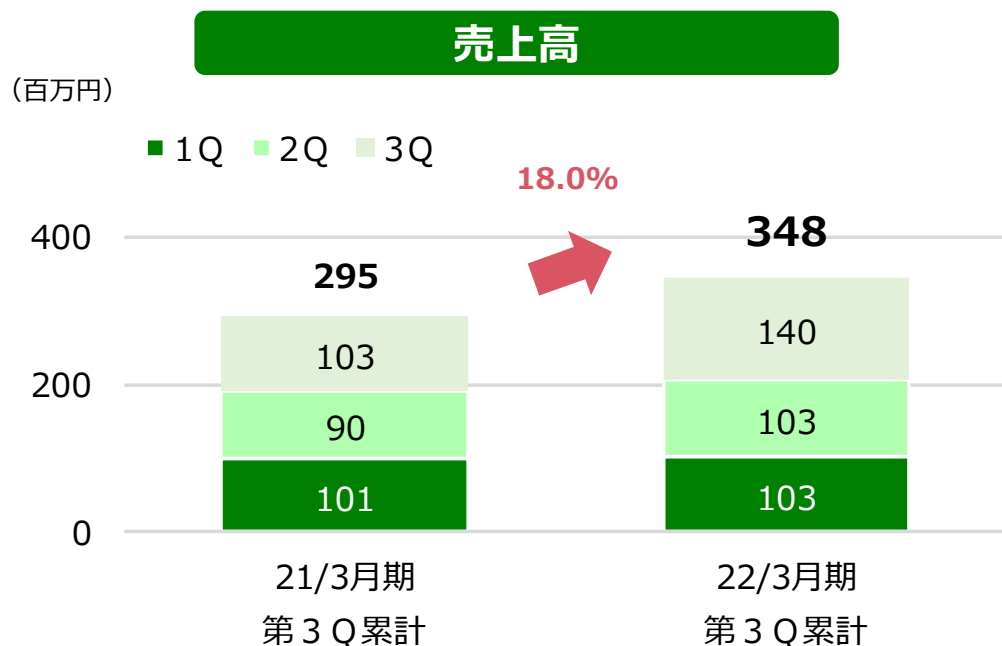
#### 太陽電池用途



# 連結 セグメント業績 ライフサイエンス



天然由来の健康食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。



## 売上高：総じて堅調に推移

- カイコ冬虫夏草の販売は堅調に推移
- 健康食品等の受託事業は堅調に推移

## 営業利益：営業損失

- 売上高は伸長するも、営業経費がかさむ

## 冬虫夏草



## 健康食品等の受託事業



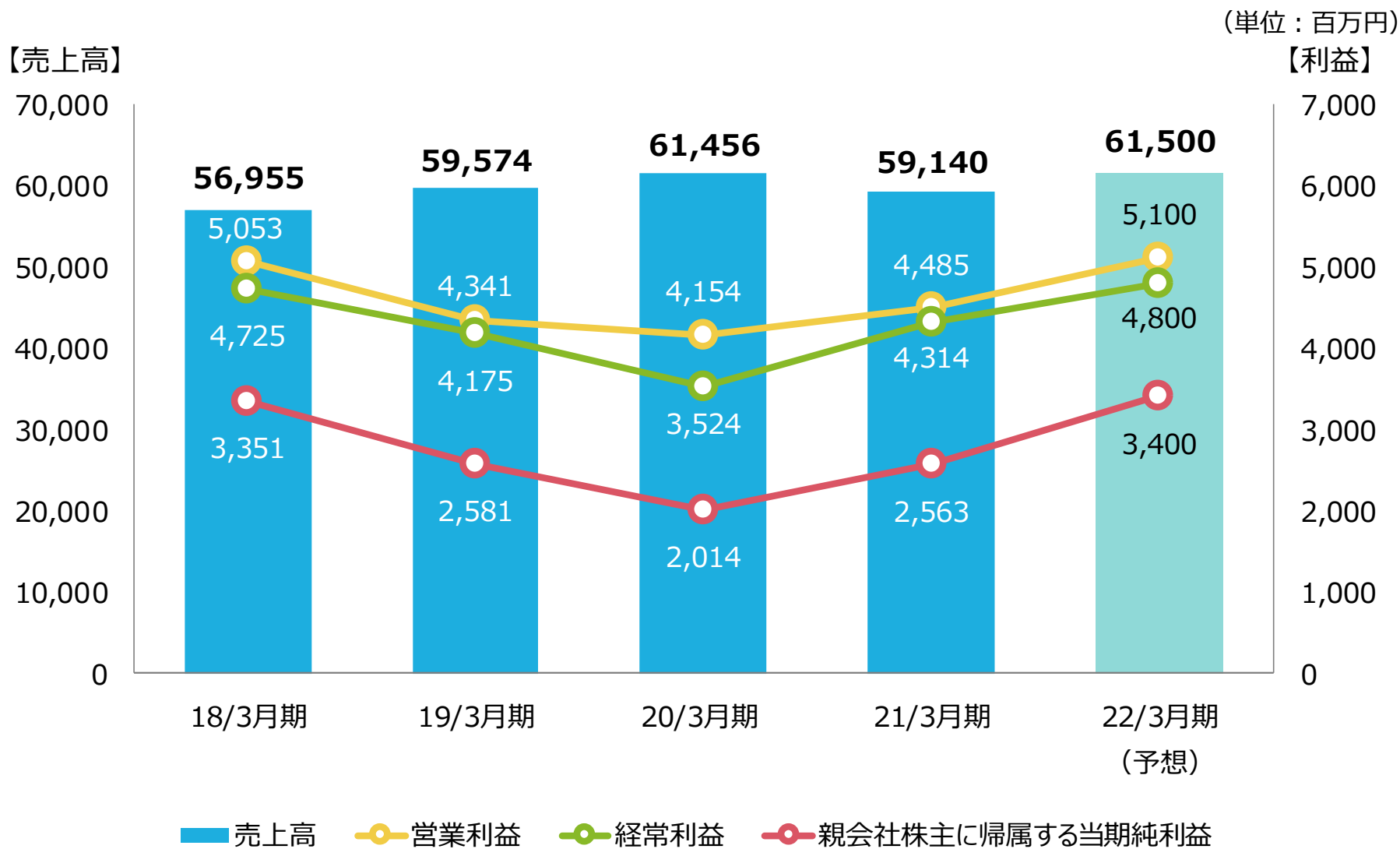
# 連結 連結比較貸借対照表の概要



(単位：百万円)

	2021年 3月末	2021年 12月末	増減額		2021年 3月末	2021年 12月末	増減額
流動資産	43,997	44,406	409	流動負債	22,071	23,019	948
現預金	11,595	9,509	△ 2,086	仕入債務	9,827	11,479	1,652
売上債権	16,866	18,018	1,152	有利子負債	7,296	7,349	53
たな卸資産	13,248	14,396	1,148	その他	4,947	4,191	△ 756
その他	2,287	2,481	194	固定負債	25,556	22,054	△ 3,502
固定資産	41,035	40,059	△ 976	有利子負債	24,809	21,227	△ 3,582
有形固定資産	34,317	33,586	△ 731	その他	747	826	79
無形固定資産	833	667	△ 166	負債合計	47,628	45,074	△ 2,554
投資・その他の資産	5,884	5,805	△ 79	純資産合計	37,404	39,391	1,987
資産合計	85,033	84,465	△ 568	負債・純資産合計	85,033	84,465	△ 568

## 2. 2022年3月期 業績見通し



# 連結 セグメント別売上高予想








セグメント 単位：百万円	2021年3月期 (実績)					2022年3月期 (予想)					前期比増減	
	上半期	下半期		通期	構成比 (%)	上半期 (実績)	下半期		通期 (予想)	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
		3Q	4Q				3Q (実績)	4Q (予想)				
界面活性剤	8,288	4,488	4,525	<b>17,303</b>	28	9,063	4,855	4,901	<b>18,819</b>	31	<b>1,516</b>	<b>9</b>
アメニティ材料	3,297	1,959	1,825	<b>7,081</b>	12	3,858	2,100	2,100	<b>8,058</b>	13	<b>977</b>	<b>14</b>
ウレタン材料	3,292	1,927	2,264	<b>7,484</b>	13	4,234	2,100	2,200	<b>8,534</b>	14	<b>1,050</b>	<b>14</b>
機能材料	10,496	5,346	5,234	<b>21,077</b>	36	9,391	4,995	3,273	<b>17,659</b>	28	△ <b>3,418</b>	△ <b>16</b>
電子デバイス材料	2,445	1,541	1,771	<b>5,758</b>	10	3,632	2,117	2,201	<b>7,950</b>	13	<b>2,192</b>	<b>38</b>
ライフサイエンス	192	103	139	<b>435</b>	1	207	140	131	<b>479</b>	1	<b>44</b>	<b>10</b>
合計	28,012	15,367	15,760	<b>59,140</b>	100	30,387	16,309	14,804	<b>61,500</b>	100	<b>2,360</b>	<b>4</b>



# 連結 セグメント別営業利益予想



セグメント 単位：百万円	2021年3月期（実績）					2022年3月期（予想）					前期比増減	
	上半期	下半期		通期	構成比 （%）	上半期 （実績）	下半期		通期 （予想）	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
		3Q	4Q				3Q （実績）	4Q （予想）				
界面活性剤	648	538	565	1,752	39	1,287	727	740	2,754	54	1,002	57
アメニティ材料	△ 27	110	△ 10	72	2	237	189	191	617	12	545	757
ウレタン材料	△ 301	△ 61	80	△ 282	-6	51	△ 10	40	81	2	363	△ 129
機能材料	1,532	639	761	2,933	65	783	261	305	1,349	26	△ 1,584	△ 54
電子デバイス材料	153	97	179	430	10	361	223	241	825	16	395	92
ライフサイエンス	△ 227	△ 122	△ 70	△ 421	-9	△ 272	△ 114	△ 141	△ 527	-10	△ 106	25
合計	1,777	1,203	1,504	4,485	100	2,447	1,277	1,376	5,100	100	615	14

分野	状況	159期
自動車・二輪	半導体不足等の影響により、車両の在庫が低下し、多くの地域で納車までの期間が長期化。2023年3月期は海外のコロナまん延状況や半導体不足解消状況にもよるが回復基調と予測。	
インフラ (5G)	基地局設置は想定通り進んでいない。半導体不足に加え部材の価格高騰が継続。	
インフラ (リニア新幹線)	リニア中央新幹線工事は、市町村との調整が難航、またトンネル崩落事故の発生などの影響により停滞している。	
ディスプレイ	半導体不足の影響とパネルの在庫過多により、2023年3月期の前半は需要が減少する見込み。	
家電・住宅建材 (難燃剤)	主要用途の家電、AV機器用途は半導体供給の影響に左右されるが、薄型テレビなど全般的には堅調に推移する見通し。国内住宅建材向け断熱材用途も、ZEH(エネルギー消費が実質ゼロになる住宅)政策の推進もあり、堅調に推移する模様。	

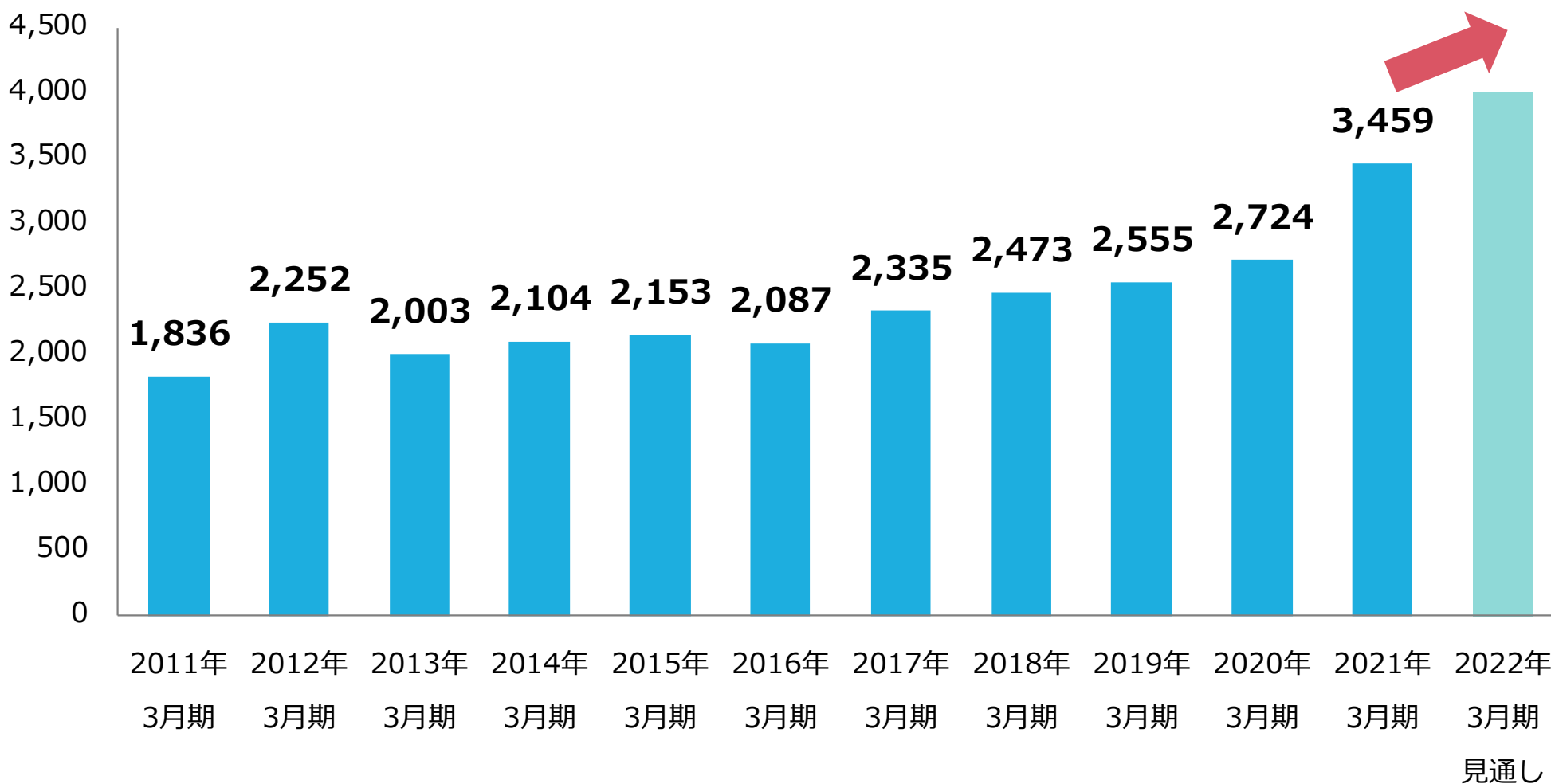
## 具体的な対策

- ①2022年3月期に引き続き、2023年3月期以降も採算是正を継続実施
- ②原料価格の上昇を、迅速な価格転嫁の実施で吸収
- ③インスパイアード・パートナーとの取り組み強化による新テーマ結実

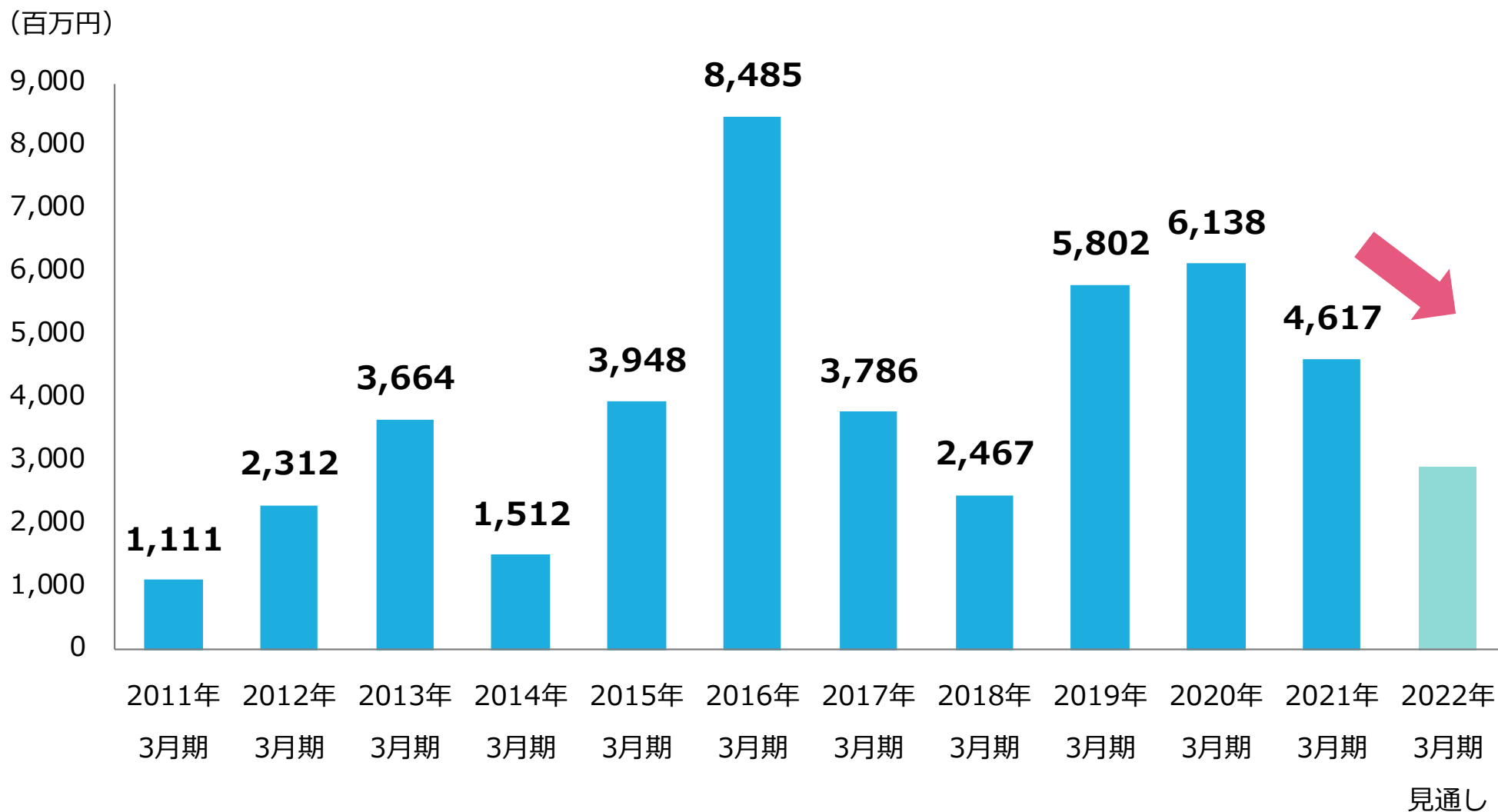
# 連結 減価償却費の推移



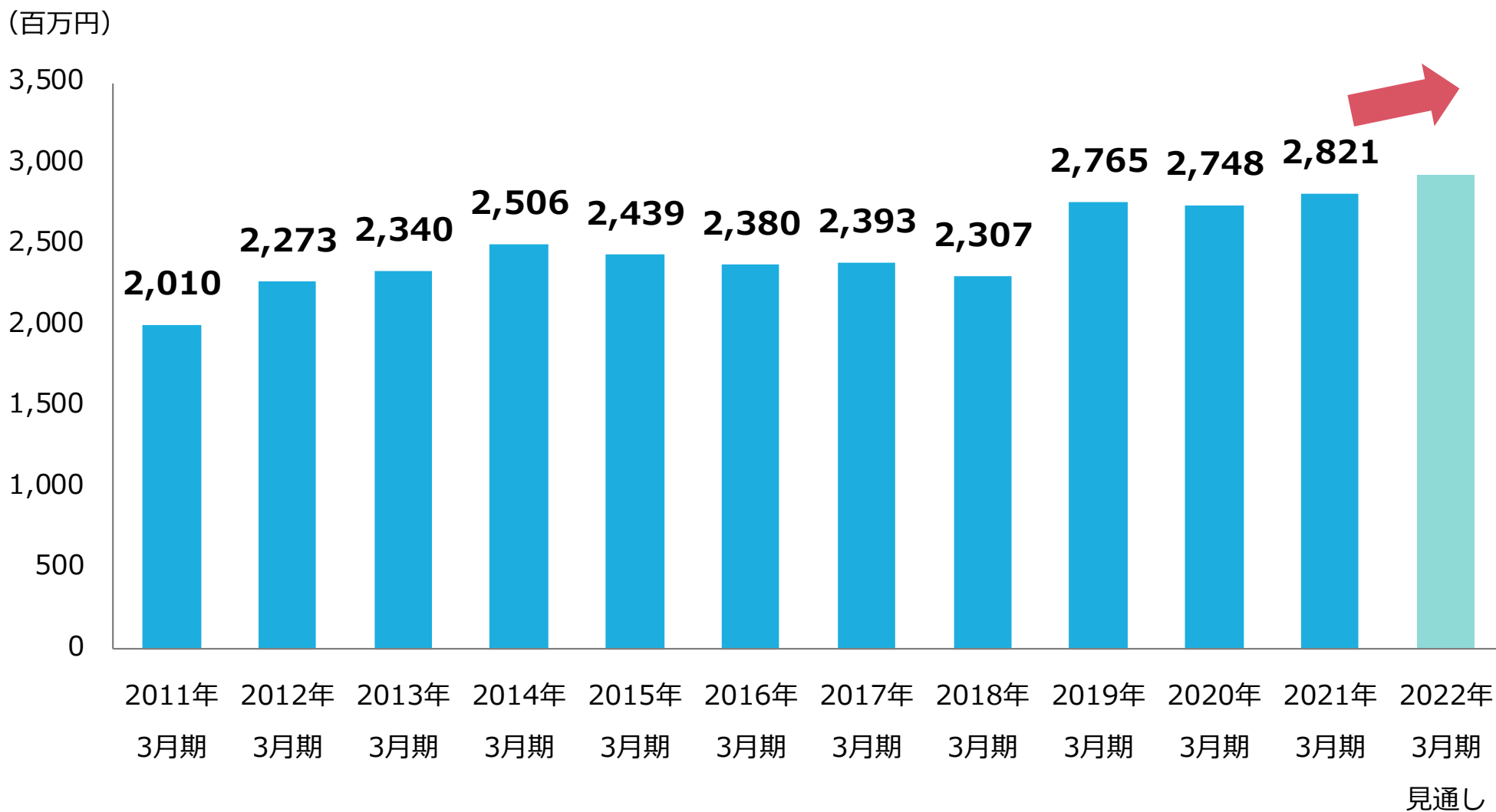
(百万円)



# 連結 設備投資額の推移



# 連結 研究開発費の推移



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

広報IR室 IRグループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp